

# 【東区】平成27年度在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

## 「事例を通じて学びあおう」

【開催日時】 平成27年7月4日(土) 10:00~15:30

【開催日時】 ウェルパルクまもと1階大会議室

【共 催】 熊本市民病院

【内 容】

第1部 情報提供「熊本市の在宅医療連携の取組み」熊本市医療政策課

講 演「**地域居住の継続(aging in place)をめざして**

**~どう生きたいかにチームで寄り添う~**」

講 師 宇都宮 宏子 先生(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)

第2部 症例検討(ファシリテーター 宇都宮宏子先生)

「在宅療養生活を支える意思決定支援・情報の共有 **病院の視点・在宅の視点**」

急性期病から在宅療養への移行事例について、実際に支援した病院スタッフと在宅スタッフから説明していただき、多職種のグループで話し合いました。

GW1:意思決定支援・情報共有で大切な事は

GW2:意志決定支援って何だろう!

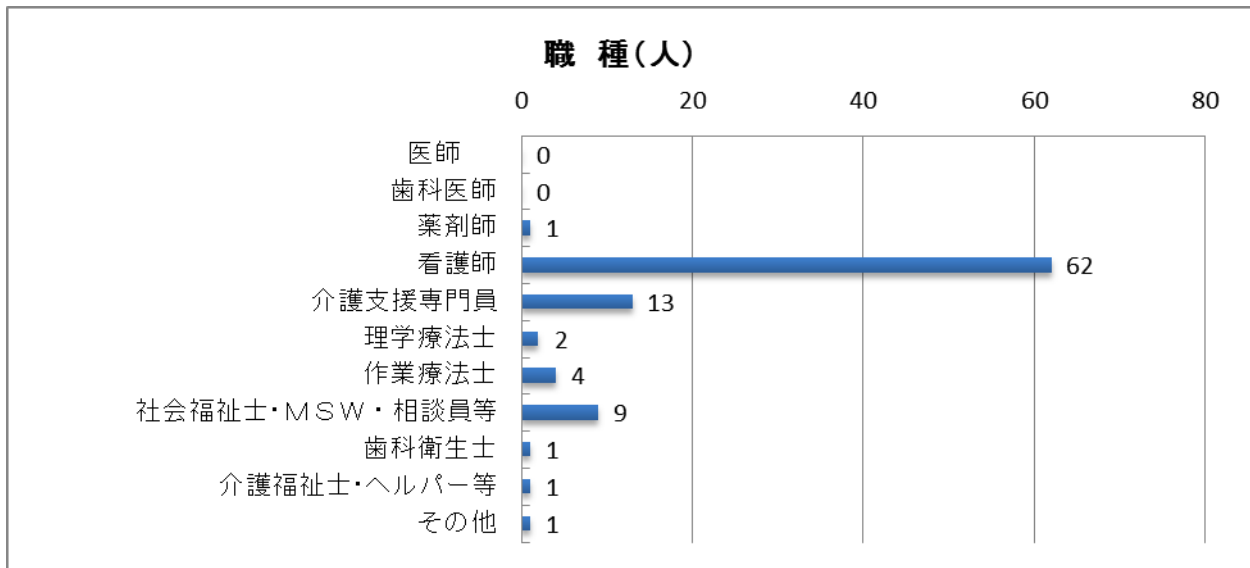
### 参加者 135名(東区の関係者中心)

・医師	2人	・薬剤師	1人	・MSW等	4人
・看護師	86人	・理学療法士	2人	・介護福祉士等	1人
・(内訳) 病院	76人	・作業療法士	4人	・管理栄養士	1人
・ 診療所	4人	・保健師	2人	・歯科衛生士	1人
・ 訪問看護ステーション	5人	・介護支援専門員	23人	・その他	4人
・ その他	1人	・社会福祉士・相談員等	4人		

# 研修会後のアンケート

回答数 91 (回答率 67.4%)

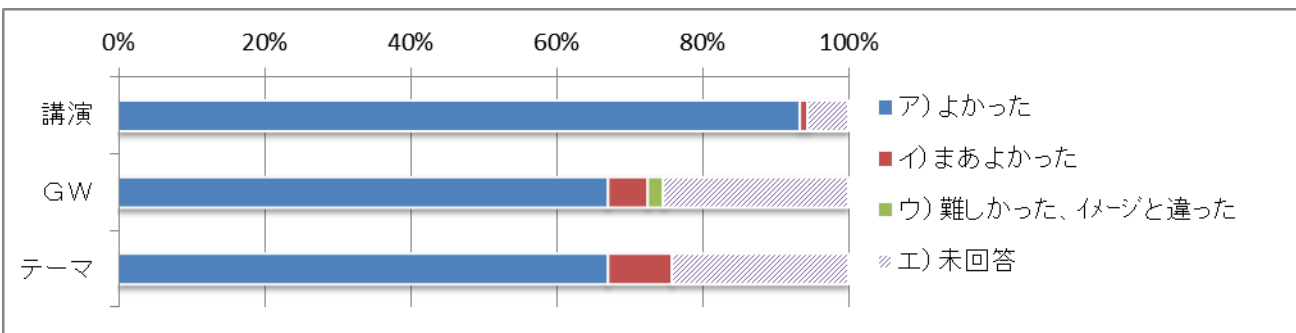
## 1 回答者



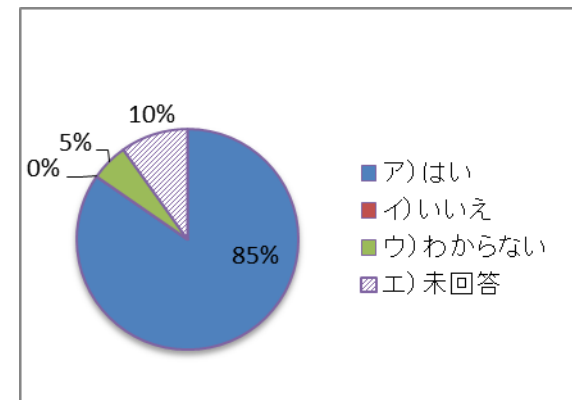
## 3 今回の研修会で新たに知り合った人数

平均 5.0人

## 2 プログラムについて



## 4 今後も参加したいか



## 5 研修会に関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- 地域医療で働く者として、とても感銘を受けた内容でした。私自身も覚悟を持って、ひとりひとりと向き合いたいと思います。
- 今回の事例のように病院から在宅へ退院された方の、退院された後の状況を知ることで、入院中にもっと病院看護師としての関わりができたのではないかと考えています。訪問看護師やケアマネの話を知ることができ、とても有意義でした。
- 急性期病院でMSWをしています。退院支援、在宅移行と言うけれど、本人がどうしたいか、家族がどうしたいのか？本当に大切なこと、大切にしなければならないものを改めて気付かされました。
- つなぐことがとても大切であることを確認できました。多職種が集まることでその人を支えていくことができると思います。その人が話す言葉を聞き逃さないようにしたいと思いました。
- 在宅看護に興味があったので、この研修会に参加させていただきました。もっと在宅・地域のことを深く学んで、退院後の患者さんをイメージして病院での看護ができたらと思います。
- とてもためになりました。外来なのであまり在宅看護の調整はしないのですが、外来でもすることがたくさんあるのだと思いました。
- 薬剤師がどのようにかかわって言ったらいいか、もっと勉強しなければならないと思った。
- 理学療法士として今回の症例のようにターミナルの方にどのようなセラピーを行うかしっかり考えていきたい。